

<<入院診療計画書・退院療養計画書>>

結腸切除術を受ける患者さまへ 3-1 禁食前日入院

患者氏名 O 様 病名： 症状： 主治医： O 印 受け持ち看護師：

月日	1月0日	1月0日	1月1日
項目	入院日	手術前（当日）	手術後（当日）
達成目標	手術について理解できる		適宜鎮痛剤を使用し、創部の痛みが軽減または消失する
治療・薬剤（内服）	- 持参されたお薬とお薬手帳は、薬剤師が確認をするため、一時的にお預かりします - 採血とレントゲンがあります - 点滴があります 点滴は24時間行ないます - お臍の汚れを取る処置を行います - 手術後の感染予防のため、シャワーに入ってください 17時と21時に抗生剤の内服があります - 許可が出たお薬は内服してください - 薬物治療について文書を用いて担当薬剤師が説明します	朝のお薬は、（ ）時までに飲んでください	- 点滴があります - 指示のある間は酸素の投与を行います - 翌朝まで生体情報モニタを装着します - 静脈血栓症予防のため、足に器械を装着します - 手術室より背中から痛み止めの管や創から管が入ってくる場合があります
活動・安静度	トイレや洗面などの制限はありません 	肺炎予防のため、歯磨きをしてください	ベッド上安静です 寝返りはして構いません 
食事	- 入院時から食事はありません お水・お茶は飲めます - 特別な栄養管理の必要性 有 - 栄養管理が必要な場合は、文書を用いて管理栄養士が説明します 	- 食事はできません - 歯磨き、うがいは可能です - お水、お茶は（ ）時まで飲めます	- 飲食できません - 麻酔から目が覚めれば、うがいはできます
排泄	制限はありません 		手術室より尿の管が入ってきます
患者様およびご家族への説明	- 入院、手術について説明します - 患者様確認のためにIDバンドを装着します - 術後に使用する寝巻き（浴衣タイプ）を準備してください（寝巻きはレンタルもあります） - 爪の長い方は切り、マニキュア・ジェルネイル・スカルプネイルも落としてください - 持参されたお薬は、翌朝に内服するお薬以外をお預かりさせていただきます	- 指輪、時計、めがね、コンタクト、義歯など金属類で外れるものは外してください - 静脈血栓症予防のために、弾性ストッキングを着用します	- 術後は看護師が適宜お伺いします 何かありましたら遠慮なく申し出てください - 痛みや辛さがある場合は、看護師にご相談ください - 食事食べていなくても肺炎の予防のために歯磨き、うがいは必ず行ってください - 歩行ができれば足の器械を外します。病棟内の歩行が一人でできるようになったら弾性ストッキングを脱いでかまいません

注 場合によっては内容を変更することがあります。

リハビリテーション・退院支援が必要な場合は、文書を用いて説明します

患者氏名 O

様

月日	1月2日		1月3日	1月4日	1月5日	1月6日
項目	手術後2日目		手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目
達成目標	創部の痛みが軽減または消失する			創部の痛みが軽減または消失する 嘔気、嘔吐の症状がない	嘔気、嘔吐や腹痛等の症状がない	
治療・薬剤 (内服)	・毎朝（8時～8時半頃）、医師が創の診察を行います ・24時間持続点滴を行います		・日中に点滴を行います			
		・朝、採血を行います ・レントゲン撮影があります			・朝、採血を行います ・レントゲン撮影があります	
活動・安静度	・病院内歩行可です ・シャワー浴はできません。適宜看護師が体を拭きます			・管が入っていないければ、シャワーに入れます 		
食事	・お水とお茶のみ飲むことができます	・朝から腸術後食流動が開始になります ・栄養士からの説明があります	・朝から腸術後食5分粥が開始になります	・朝から腸術後食全粥が開始になります	・朝から腸術後常食が開始になります	
排泄	・尿の管が入っていますが、便が出るときはトイレへ行けます	・背中痛み止めの管が抜けたら尿の管を抜きます ・尿の量が測れる専用のトイレで排尿してください	・（ / ）まで、尿の量が測れる専用のトイレで排尿してください ・排便は、手術後のため黒っぽい便や、赤っぽい便が出る可能性があります その際には、便の性状を看護師が確認しますので流さずにお知らせください 			
患者様およびご家族への説明	・手術後3日目よりお食事が開始されますが、無理のない範囲でよく噛んでゆっくり摂取してください ・手術後3日目より徐々に食事形態が変わっていきます ・食事が始まりましたら栄養士より栄養指導があります ・手術後は、病院から出される食事以外は摂取しないでください					



注 場合によっては内容を変更することがあります。

リハビリテーション・退院支援が必要な場合は、文書を用いて説明します

患者氏名 ○

様

月日	1月7日	1月8日	1月15日
項目	手術後7日目	手術後8日目～	～退院日（予定日）
達成目標	・嘔気、嘔吐や腹痛等の症状がない　・排便がみられる ・日常生活の注意点について理解ができる		《退院後の生活について》 ○食事について 消化し易いものを中心にとりましょう。食物繊維が多く含まれるものや消化しにくい食べ物は、術後3ヶ月を目安に食べ過ぎないようにしましょう。アルコールや刺激物は、約1ヶ月程度控えてください。 ○運動について 腸閉塞予防のために適度な運動は行いましょう。運動は少しずつ増やしていくようにし、無理のない程度に行いましょう。 ○排便について 便秘にならないように注意しましょう。そのために、自分にあった排便リズムを整えましょう。 ○入浴 特に制限はありません 手術創の清潔のために毎日洗うようにしましょう ○職場復帰は次回外来時に相談してください ○今後は定期的に外来で経過をみます ○病院への電話連絡・受診の目安は下記の症状です ・38度以上の発熱がある ・我慢ができない腹痛が続く ・手術創（手術後の後の創）の痛みや腫れ、赤み、膿がある ・持続する吐き気やお腹が張った感じがある・嘔吐がある ・便に血がついている
治療・薬剤 （内服）	・毎朝（8時～8時半頃）、医師が創の診察を行います		
	・朝、採血を行います ・レントゲン撮影があります		
活動・安静度	・制限はありません ・シャワー浴ができます 手術した部位の白いテープは自然にはがれるまでそのままにしてください		
食事	・腸術後常食です		
排泄	・尿量を測るのは終了となります。お部屋のお手洗いで排尿して結構です		
患者様およびご家族への説明	食事形態が常食に変わりますので、無理のないようにゆっくりと良く噛んで食事を摂取してください 満腹ではなく、8分目くらいでやめておきましょう 嘔吐、嘔気、腹痛が出現したら看護師に知らせてください	・退院までに、栄養士から退院後の食事についての説明（栄養指導）があります 	

注 場合によっては内容を変更することがあります。

国家公務員共済組合連合会 立川病院

リハビリテーション・退院支援が必要な場合は、文書を用いて説明します

2026.3.30 036002

年 月 日 患者氏名

（代理人の場合）代理人名

（続柄）